

津別町での暮らしについて

(1) 気候

北海道でも内陸に位置しているため寒暖差が大きく、夏は夜涼しくても日中 30℃を超える日もあり、冬は朝方に−20℃以下となる日が続くことがあります。

(2) 自然環境

全道的に言えることですが、野生動物と共存の生活です。車の運転中にキツネやシカなどが飛び出してきたり、山の中にはヒグマも生息しているため山に入る際は注意が必要です。また、道東（北海道の東側）のため風で流れてくる黄砂や PM2.5 といった物質が届きにくい地域ですが、周辺にカラマツ・トドマツといった樹木が多く花粉の粒子も大きいので、春先は黄色の粉のようなものが車など外に出しているものに付着していることに驚くかもしれません。雨が降ると水たまりが黄色くなります。本州のようなスギ花粉はほとんどありませんが、体質によってはシラカバなどに由来する花粉症の人もいます。冬になると日本海側ほどではないですが、雪も多く降るため家や車周りの除雪作業が必要ですし、車のエンジンをかけておいて運転前にあらかじめ温めておく必要もありますし、車は冬用ワイパーとタイヤの交換が必須です。家を数日空ける時も水道管の凍結破裂の恐れがあるため水落しが必要です。

(3) 住宅

採用後斡旋する住宅は主に町営住宅となります。平成初期～28年頃に建設されたものが多く、共通してユニットバス・水洗トイレ完備とストーブを設置できる設備になっていますが、エアコンの設備はありません。ただし、管理する住宅係に申請することで自費でエアコン設置工事をすることもできます。この他家財道具などもご自身で揃えていただくことになります。町営住宅では駐車場の除雪や住宅周辺の草刈りは共益費で賄われます。また、ご自身で津別町空家バンクで物件を探したり、知り合いの方と交渉し町内の民間住宅に住むこともできます。

(4) 自治会活動

生活する上で身近な存在となりますので、引っ越しの際はご近所や自治会長への挨拶を行い、自分の存在をお知らせします。住所によって加入する自治会が変わるため、転入時に役場住民環境係での手続きの際に確認してください。自治会は町とは別団体で独自に運営されているため、自治会によって会費や役員構成、活動内容も異なります。総会やゴミステーションの管理、回覧板の回付、班長が回ってきた場合は班内の会費徴収・広報誌の配布、春先の道路清掃、廃品回収の協力、葬儀の手伝いなどをお願いされることがあります。

(5) 買い物環境

町内に食料品スーパー 1 件、ホームセンター（ニコット） 1 件、コンビニ 2 件、クリーニング店 2 件、パン屋 3 件、薬局 2 件、書店 1 件、そのほか個人商店や飲食店等があります。また、オホーツク管内の中核都市北見市と隣接しており、車で 30 分の距離にイオン（イオンシネマ有）やユニクロ、ドラッグストアなどの商業施設や飲食チェーン店が充実しています。車で 15 分の距離にある美幌町でも全道展開しているスーパーやドラッグストアがあります。

(6) 交通アクセス

北見市と美幌町行きの路線バスがあり、市街地外の地区では町営のスクールバス兼予約制の乗り合いバスを運行しています。市街地では火曜・金曜に巡回バスを運行し、町内主要施設へアクセスできます。タクシー会社もあります。小さな町特有ですが公共施設等はコンパクトに配置されているため、徒歩や自転車での移動も容易です。町内のバスターミナルでは旭川市行と釧路市行の高速バスも停車します。札幌市へは北見駅から JR 又は高速バスで行くことができます。車で 30 分の距離には女満別空港があり、比較的便数も多いため三大都市圏へのアクセスに便利です。

(7) 医療・福祉機関

医療機関としては、津別病院（内科・外科・歯科）、個人歯科医院、整骨院、動物病院があります。隣接する北見市にはオホーツク管内医療圏の中核である北見赤十字病院もあります。

福祉施設としては、特別養護老人ホーム、高齢者グループホーム、デイサービスセンター、小規模多機能型居宅介護施設 2 件、ケアハウス、障がい者グループホーム、就労支援 B 型事業所、放課後等デイサービス事業所などがあります。

(8) 観光スポット

津別町は市街地から三方に集落が広がっており、それぞれ車で 30 分ほどの地区に観光スポットが点在しています。上里地区には「ネイチャーセンター」と「ランプの宿森つべつ」があり、道内で唯一稼働している森林セラピー基地として森林浴や各種自然体験ツアーを楽しめたり、つるつるとした泉質の温泉を堪能することができます。同じ方面で弟子屈町に抜ける道道沿いに津別峠があり、隣町の美幌峠よりも高い標高から見下ろす雲海は隠れたスポットとしても有名です。相生地区は、釧路方面の国道沿いに「道の駅あいおい」があり、SNS で話題のたい焼き風スイーツのクマヤキや手作り豆腐、10 割蕎麦などそこでしか味わえないグルメがあります。相生地区を抜けるとすぐに阿寒摩周国立公園内に入り、マリモで有名な阿寒湖温泉につながります。北見市へ向かう途中の最上地区方面には秘境チミケップ湖があり、ミシュランガイド掲載のチミケップホテルや自然そのままを堪能できるチミケップキャンプ場があります。